

小5・社会「情報を生かす産業」

(1) 本時の目標

コンビニでは、各店舗で毎日の発注を行う際、多すぎず少なすぎないちょうどよい発注をすることができ理由について、既習の内容や調べたことなどを基に話し合うことを通して、膨大な情報を使いやすい形にして活用できるようにしてきた情報システムの利便性と、自分たちの生活に果たす役割について関連させ表現することができる。

(2) 本時の展開 (5/7)

学習活動 予想される子どもの発言 (・)	支援 (◎) 資料 (資) 評価 (◆)
<p>多すぎず少なすぎないちょうどよい発注にするために、コンビニはどのように情報を活用しているのだろう。</p>	
<p>1 既習の学びや予想を基に学習問題に対する互いの考えを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前日の売り上げを見て発注する。 ・店長さんの勘で発注している。 <p>2 資料から情報を活用した発注について読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天気や気温も発注に関係しているね。 ・システムのおかげで、店員さんが正確に発注することができるようになった。 ・情報システムがなかったら、売れ残りとか売り切れが多くなって儲からない。 	<p>◎学習問題に対しての自分の考えをもつことができるように、前時の学習を振り返る。</p> <p>(資) ストア・コンピューターの画面 (おにぎり)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>研究内容Ⅰ—② (3)</p> <p>情報の活用について様々な視点から捉えられるように資料を焦点化し、天気・気温・イベント・過去のデータ・連休などの情報を活用して発注していることを読み取ることができる資料を提示する。</p> </div>
<p>【捉えさせたい事象】 天気や気温、イベントなど様々な情報を活用したり本部のアドバイスを聞いたりすることによって店長さんはちょうどよい発注を行っている。</p>	
<p>3 分かったことをもとに、情報を活用しながら班で模擬の発注を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントがあるから発注を増やそう。 ・天気が悪いからお客さんはあまり来ないと思うから発注は抑えよう。 ・連休前は発注を増やそう。 <p>4 本時の振り返りを行い、今日分かったことやそれに対して考えたことを記述し交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報システムがあるから、店員さんも助かるし、お客さんにも欲しい商品が届くから便利になっている。 ・情報システムがなかったら、商品がそろわなかったり余り過ぎて捨てられるものも多くてもったいなかったりする。 ・コンビニには商品があって当たり前だと思っていたけど、情報システムがあるおかげだね。 	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>研究内容Ⅱ—② (1)</p> <p>捉えた事象を基に、発注を行う際に活用する情報についてグループで考え、全体に共有化を図ることによって、自分と仲間の考えを比較し、考えを広げたり深めたりすることができる活動を位置付ける。</p> </div> <p>(資) 店長さんの言葉</p> <p>◎振り返りの視点は、学習問題に対して、本時明らかになったことと、それに対する自分の考えであることを明示する。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>【評価規準】(思・判・表)</p> <p>◆情報を生かして発展するコンビニと私たちの生活の利便性を関連付け、情報を生かして発展するコンビニが私たちの生活に果たす役割を適切に表現している。</p> </div>